

令和7年度（2025）

第63回 秋田市文化団体連盟章表彰式

【受章者】

1. 田中 理笙 様（華道）古流松應会
2. 保坂 省峰 様（書道）秋田市書道会
3. 出雲さとみ 様（箏曲）生田流箏曲宮城会
4. 相楽 裕 様（港ばやし）土崎港ばやし保存港和会
5. 菅原はるみ 様（民舞）土崎民舞扇豊会

日時 令和7年12月2日(火)

表彰式：午後4時

祝賀会：午後5時

会場 秋田キャッスルホテル

4階 放光の間



一般社団法人 秋田市文化団体連盟

〒010-0875 秋田市千秋明徳町2番52号
あきた芸術劇場内

TEL (018) 853-5596
FAX (018) 853-5597

HP: <http://shibunren.net>



一般社団法人 秋田市文化団体連盟

表彰式次第

開式
受章者入場
主催者あいさつ
選考経過報告
表彰状並びに連盟章贈呈
お祝いのことば
受章者あいさつ
受章者退場
閉式

祝賀会次第

開会
受章者入場
受章者紹介
祝賀披露 土崎港ばやし保存港和会
乾杯
祝宴
中締め
受章者退場
閉会

選考委員

(順不同・敬称略)

選考委員長	三戸 忠洋	(株)秋田魁新報社文化部長・論説委員
選考委員	阿部 順一	日本放送協会秋田放送局長
	川口 文平	(株)秋田放送報道制作局長
	星野 隆	秋田テレビ(株)取締役
	塩畑 弘之	秋田朝日放送(株)報道制作局長
	大島 博子	秋田県音楽教育研究会元会長

・連盟章設立までの経緯と趣旨・

一般社団法人秋田市文化団体連盟は秋田市における芸術文化の自主的活動強化を図りながら、その普及振興と市民文化の高揚に努め、秋田市の文化の向上と発展に寄与することを目的に昭和32年に結成されました。以来、秋田市芸術祭をはじめとして各種の文化事業をとおして市民の芸術文化の普及振興に力を注いでまいりました。

このような芸術文化活動の推進と文化団体連盟の発展に貢献された個人および団体の功績を讃えるとともに、秋田市の芸術文化活動の促進に寄与することを目的として、昭和38年に「秋田市文化団体連盟章」を設け表彰しているものであります。

一般社団法人 秋田市文化団体連盟

会長 宮下 正弘

受 章 者



華 道

たなかりょうじょう
田 中 理 笙 (80歳)

(田 中 昭 子)

こりゅうじょうおうかい
古流松應会

昭和36年古流松應会へ入門し長谷部理佳師に師事。

昭和41年から教授者活動に入り、後進の指導、育成に尽力する。平成19年支部長に就任長年にわたり古流松應会のいけばなの普及、家元顧問上席をし現在に至る。家元講習、いけばな展を催す事業にあたっている。平成27年から令和6年まで能代市において文化庁子どもいけばな教室に携わる

平成18年に秋田市イヤタカに教室を開設し講師として現在に至る。

昭和38年秋田県華道連盟入会

昭和60年秋田県いけばな作家協会入会

平成16年秋田県造形美術家協会入会

平成17年（公財）日本いけばな芸術協会入会

平成18年秋田市文化団体連盟へ古流松應会秋田支部代表

平成19年秋田県華道連盟常任理事現在に至る

平成19年秋田県いけばな作家協会参与現在に至る

秋田市芸術祭に作品出展、秋田県華道連盟展、秋田県代表いけばな作家展出展、古流松應会展に出展、（公財）日本いけばな芸術協会展に出展、秋田県造形美術協会展に出展

以上のように華道の発展・普及、後進の指導・育成に尽力し、芸術文化活動の推進と、秋田市文化団体連盟の発展に貢献している。

※昭和57年古流松應会70周年記念感謝状

※平成15年秋田県華道連盟永年会員功労章

※平成17年古流松應会100周年記念功労章

※令和5年秋田県いけばな作家協会創立70周年記念功労章

受 章 者



書 道

ほ さか しょう ほう
保 坂 省 峰 (78歳)

(保 坂 省 平)

あき た し しょ どう かい
秋田市書道会

1990年森川柳岱先生に師事後、秋田県美術展覧会、秋田書道展覧会などで研鑽を積む。また、秋田市書道会員として、秋田市芸術祭「総合美術展」「秋田市文化の祭典」に出品を続け、運営等を含めて秋田市文化の振興に努めている。

2015年から10年間は秋田市書道会総務部員として（2017年からは部長）として、会の運営（年間事業計画、各種予算管理、会議計画立案等）にあたる。

また、書道塾「和書の会」を設立、主幹となる。

2017年の秋田市書道会展（第55回記念展）、2022年の同展（第60回記念展）において記念作品集の企画と編集に携わる。

2019年から秋田市飯島コミセン活動の「遊び隊」で書道教室を開催する。

2020年から秋田市立飯島小学校「飯島っ子調査隊」の「飯島の人間に学ぼう」で、3年生に飯島の歴史と書道の楽しみ方を指導する。

2024年から秋田市立飯島中学校の総合的な学習で書道コースを担当し、「集中総合」で展示する作品の指導を行う。

以上のように書道の発展・普及、後進の指導・育成に尽力し、芸術文化活動の推進と、秋田市文化団体連盟の発展に貢献している。

※1990年 森川柳岱先生に師事

※2015年 秋田市書道会常任委員（総務部）

※2017年 秋田市書道会総務部長

秋田県書道連盟展覧会部員

※2019年 秋田県書道連盟理事

書道塾「和書の会」を設立、主幹となる

受 章 者



箏 曲

い す も
出 雲 さとみ (66歳)

いく たりゅうぞうきょくみや ぎ しゃそう け じきもん
生田流箏曲宮城社宗家直門

昭和42年入門から58年間、古典的宮城箏曲の芸術向上に加え、昭和50年からは三絃の技芸をも磨き、芸術文化活動の推進に真摯に励んでいる。平成14年には、秋田市文化団体連盟主催の秋田市芸術祭「古典芸能のつどい」において、地唄『黒髪』の三絃独奏弾き唄いを披露し、重厚な撥捌きとその唄の節回し・流麗なあたりの美技が、秋田市文化会館の観客の心を驚きと感動させるほどの出来栄えであった。

横手市在住でありながら、秋田市文化団体連盟主催の行事には毎回遠方より駆けつけ、率先して秋田市の芸術文化活動の促進に意欲的に取り組んでいる。宮城会秋田の主力メンバーとして県内外の各行事

(箏曲宮城会全国演奏会・東北支部演奏会・文化庁主催国民文化祭・秋田県三曲連盟定期演奏会) 等への出演や毎年の秋田市芸術祭「古典芸能のつどい」「秋田市文化の祭典」出演に力を入れ後進の良き手本となっている。

また、秋田市にぎわい交流館やわらび座温泉施設での親子体験フェスタ(文化庁主催事業)には数回、秋田市芸術体験プログラム事業にも参加し、次世代を担う子供達向事業での指導を通して箏曲の普及・振興に尽力するなど、広範囲において活躍。以上のように箏曲の発展・普及、後進の指導・育成に尽力し、芸術文化活動の推進と、秋田市文化団体連盟の発展に貢献している。

1967 (S.42) 年 4 月	生田流箏曲宮城会入門、故大庭景子師に師事、箏を始める
1975 (S.50) 年 4 月	三絃を始める
1978 (S.53) 年 4 月	秋田県立横手城南高校卒業後、宮城宗家故宮城喜代子、故宮城数江両師に師事するため上京し、宮城宗家直門となる
1980 (S.55) 年 4 月 10 日	東京藝術大学音楽学部別科箏曲専修入学
1982 (S.57) 年 3 月 25 日	東京藝術大学音楽学部別科箏曲専修修了
1982 (S.57) 年 3 月 27 日	宮城宗家教師試験174人中1位合格同年8月横手市に帰郷し箏・三絃教室を開軒現在に至る
1985 (S.60) 年	NHK邦楽オーディション箏独奏で合格、NHK FM全国放送される
1987 (S.62) 年 6 月 18 日	宮城宗家直門師範に昇格
2000 (H.12) 年 9 月 22 日	宮城宗家直門大師範に昇格
1994 (H. 6) 年	横手市かまくら館にて「出雲さとみ演奏会」開催から
2017 (H.29) 年	「この道50年出雲さとみ演奏会」まで計4回演奏会を開催

※1982 (S.57) 年 7 月 宮城会箏曲コンクール一般部3位入賞
※1984 (S.59) 年 7 月 宮城会箏曲コンクール同2位入賞
※1985 (S.60) 年 同1位入賞(いずれも箏)
※1985 (S.60) 年 NHK邦楽オーディション箏独奏で合格、NHK FM全国放送される
※1988 (S.63) 年 7 月 宮城会箏曲コンクール秀位入賞 1989 (H. 1) 年同2位(いずれも三絃)

受 章 者



港ばやし

さ が ら
相 樂

ゆたか
裕 (66歳)

つちざきみなとば や し ほ ぞんこう わ かい
土崎港ばやし保存港和会

昭和48年の入会以来、港ばやしの習得に努め、初代会長（和合谷慶宣氏）に師事し、笛及び太鼓奏者として祭典はもちろん、県内外で演奏活動を行ってきた。

会創立50周年で発売されたCD制作に企画から携わり、演奏も行った。

平成14年に秋田市教育委員会から発行された「土崎神明社祭の曳山行事伝承活用テキスト」では、テキスト作成委員として「第四章囃子」を執筆、編集。そのテキスト内容は、以降の指導法に多大な成果を果たしている。

30年以上に渡り会役員として従事し、技術部長として港ばやしを探究しながら、後進の育成に尽力。現在は副会長として会長を補佐しながら演奏、指導を行っている。

以上のように港ばやしの発展・普及、後進の指導・育成に尽力し、芸術文化活動の推進と、秋田市文化団体連盟の発展に貢献している。

昭和48年 土崎港ばやし保存港和会に入会

平成9年 会創立50周年記念「湊ばやし」CD制作（企画、演奏）

平成14年 「土崎神明社祭の曳山行事伝承活用テキスト」において、
「第四章囃子」を執筆、編集

平成17年～ 副会長に就任、以降歴任

※令和5年8月 秋田県民俗芸能協会功労者表彰 受章

※令和7年11月 瑞宝双光章 受章（消防功労）

受 章 者



民 舞

すがわら
菅 原 はるみ (60歳)
つちざきみんぶせんぽうかい
土崎民舞扇豊会

平成10年土崎民舞扇豊会に入会、加藤トヨ子師に師事。

土崎民舞扇豊会では事務局として会の運営にも尽力するなど重責を担っている。平成10年からは毎年秋田市文化団体連盟主催の秋田市芸術祭「総合芸能公演」「秋田市文化の祭典」に出演している。また、今年で12回目（今年度は12月7日開催）となる土崎民舞扇豊会が主催する、新舞踊、民舞、民謡、港ばやしフェスティバルに毎回出演し土崎の活性化にも貢献している。

土崎神明社祭の曳山行事では若い踊り子たちに踊りの指導をするなど後進の指導・育成にも尽力している。

平成12年に秋田県赤十字芸能奉仕団に入団し毎年の「愛の芸能祭」に出演入団以降各地の奉仕活動に参加しており、その他、介護施設への慰問を毎年続けている。

令和6年には秋田県芸能奉仕団事務局長に就任し手腕を発揮している。

毎年（公益財団法人）全国日本民踊公認指導者講習会を受講し、平成25年4級指導者資格取得。

平成10年加藤トヨ子（藤蔭豊代恵）師に師事

平成10年（公益財団法人）全国民踊指導者連盟入会

以上のように民舞の発展・普及・後進の指導育成に尽力し、芸術文化活動の推進と秋田市文化団体連盟の発展に貢献している。

※令和7年4月 日本赤十字社より金色有功章受賞

秋田市文化団体連盟章受章者一覧

第1回(昭和38年度) 第5回(昭和42年度) 第9回(昭和46年度) 第13回(昭和50年度)

足達清賀	熱海梧水	佐藤信雄	荻原映霧
安藤五百枝	碇谷欽一郎	佐藤憲山	杉村月郊
熊谷重子	貝塚祐治	千葉芳山	戸島松治
藤間勘妙	高橋宗枝	平野宗得	最上皓月
藤原永三	根本柳月	福地久司	若松宗栄
秋田菊花同好会	花柳翠羽	藤井信子	秋田民舞団五星会

第2回(昭和39年度) 第6回(昭和43年度) 第10回(昭和47年度) 第14回(昭和51年度)

石井乃武夫	小川一朗	石田隆子	大守崇男
遠藤絲世	加藤江月	大宮英樹	佐藤宗貞
斎藤金也	今香華	工藤幸二	藤原弘
高橋青藍	高橋千代三郎	信太陽園	古谷福太郎
長谷山喜代	藤田勵治	藤間勘翠	星野薙水
芳村伊三次	渡辺八重子	松井灯水	村井凌雲

第3回(昭和40年度) 第7回(昭和44年度) 第11回(昭和48年度) 第15回(昭和52年度)

杵屋勝菊	児玉潤松	苅安清栄	伊藤時治
工藤宗紺	佐野春子	佐藤敏雄	宇佐見雅楽和
那波雲城	鈴木清太郎	設楽稚面	岡部節操
花柳寿仲	筑和宗香	鈴木岳亮	鈴木柿園
堀江富太郎	中村芳子	並木宗成	武石貢
水野華泉	長谷部理佳	松本源太良	竹貫せき女

第4回(昭和41年度) 第8回(昭和45年度) 第12回(昭和49年度) 第16回(昭和53年度)

石田白樹	安藤草楓	上村宗伸	井出聖華
宇佐美桜月	伊藤芳泉	沢木梅之助	進藤勝太郎
佐藤儀助	遠藤景川	茂林孝華	杉沢文治
佐藤金一郎	岡田一貫斎	高橋竹風	田口勇
寺門静園	館山蓉賀	船木やす子	野口裕子
村上空城	藤蔭季代恵	和合谷慶宣	吉田辰巳
			加賀久之助

第17回（昭和54年度） 第21回（昭和58年度） 第25回（昭和62年度） 第29回（平成3年度）

伊藤 大	磯崎 夏樹	高井 新水	草薙 武雄
石塚 淑衣	五十嵐 博	佐藤 照峰	木村 幹
北島 平吉	長谷川 義男	佐藤 哲二	斎藤 千ヨ工
新岡 豊泉	進藤 義声	窪田 秋映	船木 孝子
仁平 宗孝	五十嵐 貴世衣	加賀谷 忠志	斎藤 洋甫
三浦 朝風	岩谷 貞三	特別章 野口達二	花柳 登代仲
	特別章 松井邦雄		

第18回（昭和55年度） 第22回（昭和59年度） 第26回（昭和63年度） 第30回（平成4年度）

相川 宗美	永井 久	船木 紫光	斎藤 春月
一関 吉美	阿部 鳴泉	小川 美代子	鎌田 宗敏
加賀屋 裕楓	藤原 嵩子	菅原 艶衣	渡邊 豊治
篠田 吉一	工藤 聖空	佐々木 宗文	松若 寿代栄
鈴木 為五郎	藤間 三二路	鈴木 瑞峰	川辺 昌賀
竹島 武千	特別章 秋田テレビ株式会社	特別章 村山 夢七郎	羽後銀行合唱団
渡部 景一	特別章 金子義償		特別章 山谷初男
特別章 浅利香津代			
特別章 桜田淳子			

第19回（昭和56年度） 第23回（昭和60年度） 第27回（平成元年度） 第31回（平成5年度）

笹尾 俊道	棚谷 三千雄	沢石 やえ	佐々木 玲温
鈴木 安治郎	竹内 信水	藤蔭 弥智代	高橋 比め
高瀬 武治郎	安倍 宗琴	広川 てる	滝田 宗林
松浦 美代世	嵯峨 米卿	佐藤 松宝	石井 華仙
三島 亮	佐々木 八重子	高見 青甫	林 昭三
渡部 博熙	特別章 築地利三郎	西村 秋水	花柳 登代丈
		特別章 瀧廣明	

第20回（昭和57年度） 第24回（昭和61年度） 第28回（平成2年度） 第32回（平成6年度）

相川 栄三郎	佐々木 由治郎	樋口 秀子	谷口 啓之助
石川 やす子	永田 芳蔵	谷田部 正雄	高橋 勇
柴田 市郎	安東 正	辻 大圓	今立 和子
菅原 とし子	田口 静穂	播磨屋 静江	神尾 忠雄
菊地 久甫	斎藤 蘭月	柏原 良子	吉田 幸雄
竹島 宗愛	花柳 登紫益	秋田混声合唱団	根本 柳月
特別章 佐々木 愛	秋田女声合唱団	特別章 秋元辰二	

第33回 (平成7年度)	第37回 (平成11年度)	第41回 (平成15年度)	第45回 (平成19年度)
吉田 良水	北瀬 枝穂	村井 松	高杉 艷賀
伊藤 昇雲	渋谷 源壱	永谷 和子	谷口 やよい
大野 秀池園	武田 千陽	阿部 實	藤田 典子
齊藤 博	村田 敏子	永瀬 千賀子	鎌田 和子
辻永 好子	鶴沼 宗久	菅原 弘子	東海林 一有
佐藤 祥子	若狭 祥子	藤間 静蘭	若松 千マ子
特別章 秋田歌唱演奏愛好会	秋 音 会	平沢 有子	小林 美津子
		特別章 保坂 勝雄	中村 美喜子
		特別功労章 吉尾 悅子	長谷川 咲子

第34回 (平成8年度)	第38回 (平成12年度)	第42回 (平成16年度)	第46回 (平成20年度)
藤井 久萬吉	菅原 興藏	山信田 薫	志村 幸月
木村 宗孝	佐々木 宗文	皆川 美恵	藤谷 正治郎
安藤 草楓	鈴木 陽三	佐林 恵美子	川邊 詳君
足達 静賀	駒場 ハツエ	鈴木 順二	川口 洋一郎
福地 昌司	小畠 竹城	小林 清人	桜田 香春
渡部 立子	菊地 香蓮	高橋 レイ子	鎌田 久美子
		佐藤 孝子	特別章 千秋茶会実行委員会
		花柳 仲登嗣	

第35回 (平成9年度)	第39回 (平成13年度)	第43回 (平成17年度)	第47回 (平成21年度)
佐藤 火峰	齊藤 理富美	故細谷 忠一郎	中野谷 伊志子
出川 悅華	越中谷 宗茂	佐々木 晋次	黒澤 豊恵
工藤 宗容	藤蔭 季京	成田 葉子	石塚 喜奈子
加藤 卜ヨ子	高橋 信夫	笹渕 昌子	土田 満弘子
井上 雅楽緑	古城 美知賀	伊藤 艷子	宮下 正弘
奥村 信子	茂林 憲子	斎藤 英子	早川 みか
	特別章 那波 宗久	山田 典賀	

第36回 (平成10年度)	第40回 (平成14年度)	第44回 (平成18年度)
庄司 千年	中村 英太郎	藤原 順
岡田 茂廣	遠藤 素楓	関村 勇治
寺田 美恵子	村井 ユキ	田口 常世
長谷山 芳喜	藤井 森恵	種村 金実
藤間 一寿綾	佐藤 温	木村 セツ子
卓 吾	藤田 和平	山口 靖子
特別章 佐藤 眞弓	羽川 正	長岐 勝美

第48回(平成22年度) 第52回(平成26年度) 第56回(平成30年度) 第60回(令和4年度)

脇 葉 月	星 野 久 恵	金 子 岳 楊	保 坂 京 花
竹 内 宗 順	水 野 草 香	佐 藤 明 子	仙 北 屋 光 久
長 谷 川 酔 月	工 藤 俊 子	石 郷 岡 晋 春	藤 哲 咲 子
北 林 芳 則	藤 間 翠 寿	村 井 雅 豊	大 川 正 正
渡 部 晃 溪	児 玉 幹 夫	森 合 紅 華	提 嶋 彩 華
田 中 啓 子	藤 蔭 小 枝	花 柳 丈 陽 人	
特別章(仮)村 井 汀 舟 片 谷 沙 和 子			

第49回(平成23年度) 第53回(平成27年度) 第57回(令和元年度) 第61回(令和5年度)

萩 原 蓉 橋	佐 々 木 一	竹 下 氣 平	三 浦 光 子
小 林 政 見	塩 寺 リ ン	坂 野 宗 寿	原 田 翔 泉
奈 良 芳 華	長 谷 川 流 石	足 達 孝 賀	小 坂 志 峯
柿 崎 道 直	鎌 田 昌 子	橋 本 久 夫	田 中 安 岳
梅 村 大 虚	小 松 奇 峰	加 藤 了 楓	押 切 明 子
稻 葉 興 賀	猿 若 聖 花	上 村 周 峯	奥 村 美 和 子

第50回(平成24年度) 第54回(平成28年度) 第58回(令和2年度) 第62回(令和6年度)

三 浦 貴智介	渡 部 月 昇	藤 林 栄 子	菅 原 浩 洋
太 田 精 一	加 藤 一 弥	石 橋 寿 芳	橋 野 宗 茂
芹 田 宗 洋	小 泉 美 和 賀	吉 岡 悠 水	大 塚 祥 華
酒 井 貴	高 橋 宗 紀	高 橋 紗 輪 子	加 藤 豊 典
三 浦 草 悅	藤 間 玲 翠		塚 間 あ き ら
加 賀 谷 友 子			宮 繁 夫
赤 川 郁 子			菅 原 ひ ろ 賀
			古 川 孝

51回(平成25年度) 第55回(平成29年度) 第59回(令和3年度)

鎌 田 要 山	菅 野 桂 月	堀 内 則 代
岡 部 い さ む	浜 野 鉄 枝	京 屋 幸 瞳
小 松 秀 穂 園	永 田 賢 之 助	仁 村 宗 和
鈴 木 富 貴 子	佐 藤 宗 洋	
川 村 芳 貴	高 田 登	
田 村 朋 賀		